

# 処理方法別比較表

	処理方法	特徴	コスト面での評価	環境面での評価	メリット	デメリット（課題）																
1	<p>現行どおり</p> <p>資源物回収</p> <p>⇒選別・保管</p> <p>⇒容器包装リサイクル協会</p> <p>⇒再生処理事業者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル手順・行程が複雑・冗長</li> <li>トレイ類は、製鉄所における化学原料（還元剤）として利用…が加リサイクル</li> <li>リサイクル益に比し、費用が多額（65,000千円…H27実績）</li> </ul>	<p><b>【輸入】H27</b></p> <table border="1"> <tr><td>トレイ類指定袋販売額</td><td>7,401千円</td></tr> <tr><td>容リ協リサイクル拠出金</td><td>496千円</td></tr> <tr><td>計(A)</td><td>7,897千円</td></tr> </table> <p><b>【輸出】H27</b></p> <table border="1"> <tr><td>トレイ類指定袋作成費用</td><td>8,631千円</td></tr> <tr><td>収集委託費用</td><td>33,385千円</td></tr> <tr><td>容リ協リサイクル委託費用</td><td>523千円</td></tr> <tr><td>環境センター前処理委託費用</td><td>30,000千円</td></tr> <tr><td>計(B)</td><td>72,539千円</td></tr> </table> <p>*収支(B) - (A) = 64,642千円 = 65,000千円</p> <p>・新施設でのリサイクル設備投資が必要</p>	トレイ類指定袋販売額	7,401千円	容リ協リサイクル拠出金	496千円	計(A)	7,897千円	トレイ類指定袋作成費用	8,631千円	収集委託費用	33,385千円	容リ協リサイクル委託費用	523千円	環境センター前処理委託費用	30,000千円	計(B)	72,539千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>焼却しないことによる、環境施設での二酸化炭素の発生抑制（国内全体では平衡）</li> <li>遠隔地（処理施設）までの運搬に要する車両から発生する二酸化炭素の発生</li> <li>「エネルギーの地産地消」の観点からはかい離</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別収集等による、市民のリサイクル意識の向上</li> <li>高いリサイクル率の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収集したトレイ類は、最終的には容リ協の判断により助燃材として熱還元されているものも多い。 ⇒エネルギー収支・経済収支面での損失</li> <li>遠方でのエネルギー回収と利用 ⇒「エネルギーの地産地消」の観点からはかい離</li> <li>分別の手間、判断の難しさによる市民の負担の増大 ⇒高齢化社会の実情とかい離</li> </ul>
トレイ類指定袋販売額	7,401千円																					
容リ協リサイクル拠出金	496千円																					
計(A)	7,897千円																					
トレイ類指定袋作成費用	8,631千円																					
収集委託費用	33,385千円																					
容リ協リサイクル委託費用	523千円																					
環境センター前処理委託費用	30,000千円																					
計(B)	72,539千円																					
2	<p>トレイ類を焼却ごみとする。</p> <p><b>【サーマルリサイクル】</b></p> <p>焼却ごみと合わせて収集</p> <p>⇒環境センターへ搬入</p> <p>⇒焼却</p> <p>⇒熱回収</p> <p>⇒発電</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>焼却時に発生する熱を発電に利用。（エネルギーの地産地消） …一般的に、プラスチックは、石油と同レベルの発熱量、紙ごみの約2.5倍の発熱量を有する。</li> <li>高カロリーである廃プラスチックを燃やすことで、効率的な発電が可能</li> </ul>	<p>・リサイクル処理費用削減（H27対比）</p> <table border="1"> <tr><td>トレイ類指定袋作成費用</td><td>△ 8,631千円</td></tr> <tr><td>容リ協リサイクル委託費用</td><td>△ 523千円</td></tr> <tr><td>環境センター前処理委託費用</td><td>△ 30,000千円</td></tr> <tr><td>計</td><td>△ 39,154千円</td></tr> <tr><td></td><td>≒ 40,000千円</td></tr> </table> <p>…収集委託費用33,385千円（H27実績）は焼却ごみの収集に変更するため、削減費用は現時点で未定</p> <p>・新施設でのリサイクル設備投資が削減</p>	トレイ類指定袋作成費用	△ 8,631千円	容リ協リサイクル委託費用	△ 523千円	環境センター前処理委託費用	△ 30,000千円	計	△ 39,154千円		≒ 40,000千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>焼却することにより、環境施設における二酸化炭素発生量は増加（国内全体では平衡）</li> <li>遠隔地（処理施設）までの運搬に要する車両から発生する二酸化炭素の削減</li> <li>「エネルギーの地産地消」の観点からは整合</li> <li>新施設の焼却炉は、最新技術によりトレイ類が多く含まれているごみでも「安全に」焼却が可能</li> <li>ダイオキシン類対策は、焼却技術の進歩もあり、国の法規制や自主規制により影響を及ぼすことはない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国のサーマルリサイクル推奨の動きと整合</li> <li>エネルギーの地産地消</li> <li>リサイクル処理費用の削減</li> <li>新施設でのリサイクル設備投資削減</li> <li>市民の分別作業軽減</li> <li>高齢化社会に優しい簡易な分別区分化</li> <li>焼却施設の助燃材の削減（H27実績：白灯油 36,000L使用）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>焼却処理施設の規模が若干大きくなる</li> <li>分別意識の低下の懸念</li> <li>リサイクル率の低下 ⇒市民に対して処理方法変更に係る丁寧な説明が必要</li> </ul>						
トレイ類指定袋作成費用	△ 8,631千円																					
容リ協リサイクル委託費用	△ 523千円																					
環境センター前処理委託費用	△ 30,000千円																					
計	△ 39,154千円																					
	≒ 40,000千円																					
3	<p>トレイ類を焼却ごみとし、<b>事業系ごみ中の廃プラスチック（事業系廃プラ）を産廃として扱う。</b></p> <p><b>【サーマルリサイクル】</b></p> <p>焼却ごみと合わせて収集</p> <p>⇒環境センターへ搬入</p> <p>⇒焼却</p> <p>⇒熱回収</p> <p>⇒発電</p> <p>事業系廃プラ受入規制</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>焼却時に発生する熱を発電に利用。（エネルギーの地産地消） …一般的に、プラスチックは、石油と同レベルの発熱量、紙ごみの約2.5倍の発熱量を有する。</li> <li>高カロリーである廃プラスチックを燃やすことで、効率的な発電が可能</li> <li>事業系廃棄物中のプラスチックは受け入れ規制</li> </ul>	<p>・リサイクル処理費用削減（H27対比）</p> <table border="1"> <tr><td>トレイ類指定袋作成費用</td><td>△ 8,631千円</td></tr> <tr><td>容リ協リサイクル委託費用</td><td>△ 523千円</td></tr> <tr><td>環境センター前処理委託費用</td><td>△ 30,000千円</td></tr> <tr><td>計</td><td>△ 39,154千円</td></tr> <tr><td></td><td>≒ 40,000千円</td></tr> </table> <p>…収集委託費用33,385千円（H27実績）は焼却ごみの収集に変更するため、削減費用は現時点で未定</p> <p>・新施設でのリサイクル設備投資が削減</p> <p>・事業系廃プラ処理に要する費用の削減</p>	トレイ類指定袋作成費用	△ 8,631千円	容リ協リサイクル委託費用	△ 523千円	環境センター前処理委託費用	△ 30,000千円	計	△ 39,154千円		≒ 40,000千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>焼却することにより、環境施設における二酸化炭素発生量は増加（国内全体では平衡）</li> <li>遠隔地（処理施設）までの運搬に要する車両から発生する二酸化炭素の削減</li> <li>「エネルギーの地産地消」の観点からは整合</li> <li>新施設の焼却炉は、最新技術によりトレイ類が多く含まれているごみでも「安全に」焼却が可能</li> <li>ダイオキシン類対策は、焼却技術の進歩もあり、国の法規制や自主規制により影響を及ぼすことはない</li> <li>事業系廃プラ処理により発生する二酸化炭素の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国のサーマルリサイクル推奨の動きと整合</li> <li>エネルギーの地産地消</li> <li>リサイクル処理費用の削減</li> <li>新施設でのリサイクル設備投資削減</li> <li>市民の分別作業軽減</li> <li>高齢化社会に優しい簡易な分別区分化</li> <li>事業系廃プラ約600tの減量（見込）</li> <li>事業系廃プラ規制による焼却量の減少</li> <li>焼却施設の助燃材の削減（H27実績：白灯油 36,000L使用）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別意識の低下の懸念</li> <li>リサイクル率の低下 ⇒市民に対して処理方法変更に係る丁寧な説明が必要</li> <li>事業所における廃プラ処理費用発生</li> </ul>						
トレイ類指定袋作成費用	△ 8,631千円																					
容リ協リサイクル委託費用	△ 523千円																					
環境センター前処理委託費用	△ 30,000千円																					
計	△ 39,154千円																					
	≒ 40,000千円																					